

<取材のお願い>

2023年11月27日

愛媛大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

ネパール、インドの若手研究者らが日本の土砂災害地復興を調査
～災害対策研究を担う人材育成を目指した愛媛大学との共同研究プログラム～

愛媛大学では、12月4日（月）～12月22日（金）、ネパールの3大学（危機管理学院大学、トリブバン大学、ユニバーサル工科大学）、インド工科大学マンディ校から、地盤防災研究に関心がある大学生1名、大学院生7名、教員2名、計10名を招へいし、共同研究プログラムを実施します。

日本は、地震のほか降雨に伴う土砂災害が毎年のように発生する自然災害大国です。西日本においても、平成26年8月豪雨（広島県ほか）、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月西日本豪雨などによる土砂災害は記憶に新しいところです。一方、ネパールとインド北部も同様に降雨と地震による土砂災害が多発しており、その度に多くの命が失われています。しかし、ネパールでは研究環境が十分に整っていないことから、災害に関する基礎的な研究も進んでいないのが現状です。本プログラムでは、日本の土砂災害の事例から最新の科学的知見を共有し、それぞれの国のリーダーとなって災害対策研究に寄与する人材を育成することを目的とします。

具体的には、土砂災害に関する講義に加え、地すべりや斜面崩壊時に地盤に起こる現象を調べるためにリングせん断試験機（土の残留強度を測定）で実験を行い、自然現象を室内の実験でどのように評価するかを学びます。また、広島県と熊本県の土砂災害現場を視察し、その復興状況を調査して土砂災害の地域性や斜面崩壊の主要因を探ります。そして、プログラムで学んだことを基に、招へい者それぞれが自国の土砂災害対策について考え議論を重ねます。12月21日には愛媛大学大学院生も参加し、最終発表会を行います。また、土砂災害研究のレビュー論文を作成し、ネパールとインドの学術誌等に投稿することも目指します。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、参加者が講義や実験に参加する様子、ディスカッションの様子、広島県、熊本県での災害発生現場調査の様子、最終発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当のバンダリ・ネトラ・プラカシュ教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●講義 ●実験（リングせん断試験法他） ●ディスカッション
●土砂災害と復興状況調査（広島県南部地域・熊本県阿蘇地域）
●最終発表会

【実施場所】 愛媛大学城北キャンパス、広島県広島市、熊本県阿蘇市

【研修日程概要】

12月4日(月)	午前：来日 午後：オリエンテーション、意見交換会（愛媛大学食堂）
12月5日(火)	終日：講義（愛媛大学）
12月6日(水)	午前：講義（愛媛大学） 午後：災害地現地視察・調査（広島県広島市）
12月7日(木)	午前：平和記念公園視察、土砂災害地と復興状況調査（広島市） 午後：災害地現地視察・調査、被災地復興状況調査（熊本県阿蘇市）
12月8日(金)	午前：別府市観光（別府市） 午後：松山市へ移動
12月9日(土)	午前：卒業論文、修士論文計画紹介プレゼンテーション（愛媛大学） 午後：引率教員2名による研究紹介プレゼンテーション（同上） 愛媛大学における土砂災害関連研究施設、設備視察（同上）
12月10日(日)	終日：自由時間（松山市）
12月11日(月)	午前：ディスカッション 午後：愛媛大学防災情報研究センター活動紹介（愛媛大学）
12月12日(火)	午前：ディスカッション 午後：ワークショップ（愛媛大学）
12月13日(水)	終日：講義（同上）
12月14日(木)	終日：実験（一面せん断試験法、リングせん断試験法）（同上）
12月15日(金)	終日：実験（一面せん断試験法、リングせん断試験法）（同上）
12月16日(土)	終日：レビューノート、レビュー論文案作成（同上）
12月17日(日)	終日：自由時間（松山市）
12月18日(月) ～12月20日(水)	終日：論文作成、最終発表会資料作成（同上）
12月21日(木)	午前：最終発表会 午後：修了式 羽田/成田へ移動
12月22日(金)	午前：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

愛媛大学社会共創学部

（担当：バンダリ ネットラ P.）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：田中(禎)、太田）